

奈良大学大学院の入学者受入れの方針

(アドミッション・ポリシー)

文学研究科

修士・博士前期課程

奈良大学文学部における学位授与の方針（D P）で掲げている、①知識・技能の理解と活用、②問題発見・解決力、③多様性の理解、④コミュニケーション能力、⑤自律的で意欲的な態度、のいずれにも合致する能力を持ち、自らの研究を計画的に推進できる能力を持つ人材を受け入れる。以下、各専攻で定める能力をそなえていること。

【国文学専攻】

1. 日本文学・日本語及びそれらに関連する文化的諸領域について、基礎的な知識をもち、かつ主体的に研究していける人。

【文化財史料学専攻】

1. 歴史遺産に恵まれた奈良を拠点とし、自国の文化、さらには異文化へと、世界的に視野を広げ、歴史・文化を研究していける人。
2. 高度で専門的な知識と技術を習得することにより、具体的な所産である文化財を通して歴史や文化を研究していける人。
3. 文化財を継承していくことの大切さを十分に理解し、その保存・修復・活用に、より高度な科学的調査方法や研究能力を生かしていける人。

【地理学専攻】

1. 地表をめぐる諸現象のうち、自然地理学、人文地理学、地誌学、G I Sなどの分野の基礎的知識を持ち、かつ主体的に研究していける人。
2. 地理学に関係の深い分野であるG I Sに関する専門資格及び中学・高等学校教諭専修免許状を生かした活動を目指している人。

博士後期課程

【文化財史料学専攻】

奈良大学大学院文学研究科博士前期課程における学位授与の方針（D P）に合致し、さらに研究目的及び研究計画が明確で、推進力が期待できる人材を受け入れる。

社会学研究科

修士課程

【社会学専攻】

社会学研究科創設以来の「リサーチ・オリエンテッド」の伝統に基づき、調査・実験・臨床の実践を通じて実証的な研究を継続して行う意志のある人材を求める。社会文化研究コースにおいては社会学、社会心理学、経済学、経営学、情報学から学際的かつ専門的な技能を獲得するために学ぶ意思を強く持ち、自律的に問題解決に取り組むことができると同時に、常に自身の学びと社会との繋がりを意識することができる人材を受け入れる。臨床心理学コースにおいては臨床心理学について深く探求し、自己と他者の心に寄り添うと同時に冷静な分析的視点を失わない姿勢を自ら育む意欲と、学修の成果を社会への貢献に繋げる意思を持つ人材を受け入れる。